

NICT 鹿島VLBIニュース

世界天文年開会式イベント Global eVLBI観測にK5/VSIで参加 地球規模の電波望遠鏡実現

ヨーロッパのVLBI研究機関である JIVE (Joint Institute for VLBI in Europe) が中心となり、世界天文年の記念イベントとして世界中の電波望遠鏡を高速ネットワークでつなぎ、地球規模の電波望遠鏡を合成するeVLBI観測が計画されました。2009年1月15日、パリのユネスコ本部で行われた「世界天文年」の開会式と同時並行して、このリアルタイムeVLBI観測が実施され、その様子がパリの開会式会場で紹介されました。

ガリレオが初めて望遠鏡を夜空に向けて宇宙への扉を開いた1609年から400年目となる2009年を記念して国際連合、ユネスコ、世界天文学連合は今年を「世界天文年」と定め、世界各地で天文に関するイベントが計画されています。



鹿島センターが開発し観測に使用した
 サンプラADS2000(上)とPC-VSI(下)



NICT 鹿島宇宙技術センターの34mアンテナは、世界各地の電波望遠鏡と協力して、世界天文年記念のeVLBI観測に参加し、天体の観測を行いました。全世界の電波望遠鏡で観測されたデータは観測と同時に高速ネットワーク (JGN2plus等) を通じてJIVE(オランダ) に集めて処理され、詳細な電波写真が合成されました。これほど大規模なeVLBI国際共同観測は世界初であり、この成功を受けて、この後より本格的な科学的成果を目的とした共同観測が計画されています。(MS記)

for IYA2009 24hr e-VLBI. Image by Paul Bove.

Visible Earth (visibleearth.nasa.gov)